

市長定例記者会見報告事項概要

令和4年4月25日(月) 午前10時00分～

1. 「新庁舎建設工事安全祈願祭」について

- 新庁舎建設工事に先立ち、施工業者の主催により、「防府市新庁舎建設安全祈願祭」が明後日27日(水)午前11時から、建設予定地において執り行われる。
- この度の安全祈願祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、少人数・短時間での実施となっている。
- 4月に入り、新庁舎建設予定地では、工事現場周辺の安全を確保するため、仮囲いの設置が行われている。
- 工事現場の仮囲いについては、市内中学校美術部等のご協力により、絵画を描いていただく予定としている。未来を担う子どもたちに、まちづくりや、郷土への思いを表現してもらう。

2. 「小野公民館のオープン」について

- 小野公民館の移転、建替えについては、本年2月に本市初となる公民館、老人憩の家、分団消防器庫を複合化した建物として完成し、5月5日(木・祝)に開館の運びとなった。
- 新しい小野公民館は、公民館機能強化の一環として新たにWi-Fiを整備し、利便性の向上を図っている。
- 今後、さらなる利便性向上を目指し、「遠隔相談システム」や「キャッシュレス決済」のモデル事業を実施することとしている。
- 新小野公民館は、地域における生涯学習・社会教育の核となる学習拠点施設として、また、子どもから高齢者まですべての人が集まることがで

きる交流拠点施設として、さらには災害時の防災拠点施設として、地域住民の方々にご利用いただければと思っている。

- 今週の28日(木)には、報道関係者の皆様への内覧会も開催するので、ぜひ、新しい小野公民館をご覧いただきたい。

3. 「笑顔満開通り アスピラート 市民ギャラリーと大村能章の部屋オープニングセレモニー」について

- 5月8日(日)から笑顔満開通りアスピラート1階に「市民ギャラリー」がオープン、2階に「大村能章の部屋」がリニューアルオープンする。
- 「市民ギャラリー」については、文化活動の発表や文化交流の場として、アスピラート1階を改修して設置した。
- オープンを記念し、5月8日(日)午前9時30分からオープニングセレモニーを行う。
- 市民ギャラリーオープニング記念として、5月8日(日)から5月15日(日)まで「飴村秀子作品展 藍×(あい・かける)現代アート」を開催する。
- この作品展の開催にあたっては、山口県立美術館にご協力いただき、日展特選受賞作品「アグルの楯(たて)」をはじめとした3点の里帰り展示も行うこととなっている。
- 飴村先生の市内で最初の作品展である。ぜひ、笑顔満開通りアスピラートにお越しいただきたいと思っている。

4. 「駅北公有地の活用事業者の募集」について

- 民間活力を最大限活用し、便利で魅力ある「まちなか」を形成するため、提案内容と価格の双方を評価する「公募型プロポーザル方式」により、

駅北公有地の活用事業者を募集する。

- プロポーザルの参加申込期間は、本日から6月8日（水）までの約1か月半とし、その後6月末日までに事業計画等の企画提案書を受け付ける。
- 土地活用に当たっては、民間の自由な発想による提案を求めることとしており、駅周辺に相応しいコンセプトで、公有地を一体感のあるゾーンとして、一団で活用していただくことを条件としている。
- 選定委員会において、最も優秀な提案を選定していただき、その後の議会で議案の上程を予定している。
- 新庁舎の供用開始予定の令和6年度中には、令和のまちに相応しいエリアとなることを期待している。

5. 「ほうふっ子エコスクール事業」について

- この春に小学校に入学した、新一年生の給食が、本日をもって、すべての学校で始まる。
- 今年度から、学校給食で提供される牛乳が、瓶からすべて紙パックに変わった。
- 本市では、紙パックは資源ごみとして回収することから、学校においても原則水曜日を「エコの日」と定め、全小中学校で一斉に牛乳パックのリサイクルを推進していく。
- トイレtpーパーなど、牛乳パックのリサイクルにより作られる、身近な生活用品を通じて環境教育に取り組んでいく。
- 取材については、5月11日（水）に富海小中学校でお願いしたい。
- エコの取組として、市では、5月1日（日）から10月31日（月）まで、クールビズで執務を行う。

6. マイナンバーカードの交付率について

- 本市におけるマイナンバーカードの交付率が、令和3年度末時点において50.5%となり、県内市町では初めて50%を超えた。
- マイナンバーカードについては、今後急速に進んでいくデジタル社会の基盤となることから、本市では普及率100%を目標に、懸命に取り組んできた。
- 現在、市民の2人に1人がカードをお持ちになっているところであり、これからもすべての人に持っていただけるよう、しっかりと普及に取り組んでいく。

7. 幸せますウィークについて

- 毎年、4月中旬から5月の連休までの期間を、防府では「幸せますウィーク」と名付け、様々な催しを行っている。
- 既に、防府天満宮大石段では、「HOPE（ホープ）・希望」をテーマに、「太陽と鳩」をモチーフとした花回廊がお披露目されている。
- 「防府」(HOFU)の文字が、平和「PEACE・ピース」の文字と合わさると、「HOPE（ホープ）」、「希望」の文字が生まれる。
- 私としては、防府の皆が一緒になって平和を願い、防府から、「未来への希望」を発信したいと考えている。
- 今週29日(金・祝)には、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで、3年ぶりとなる「春の幸せますフェスタ」が開催される。
- フェスタの目玉となる幸せますパレードでは、マーチングバンド、おんなみこし、企業パレードなどが練り歩くこととなっている。
- 防府の歴史と文化が一体となった、まさに「すごいぞ！防府」にふさわ

しい催しとなっている。

- 5月3日（火・祝）から5日（木・祝）には、防府市奈美の中央橋上流で行われる「こいながし」、同じく、4日（水・祝）から5日（木・祝）には本橋河川敷で「こいわたし」が行われる。
- 「佐波川を 優雅に泳ぐ こいながし」、「晴れ空を のびのび泳ぐ こいわたし」。この両方をぜひご覧いただきたい。
- その他の「幸せますウィーク」期間中のイベントにつきましても、工夫を凝らして開催する。